



発行：風の松原に守られる人々の会 事務局：〒016-0805 秋田県能代市大手町3-38 成田憲太郎方 電話0185-52-6316

会設立からの歩み

今号には平成24年3月から24年8月までの活動を記録。見出し番号は創刊号からの通し番号。なお今回は前号で掲載できなかった事業の写真も掲載した。

174 「観察会」「講演会」「懇親会」の写真

平成23年11月22日(火)午後1時半実施の松原観察会には15名参加。サン・ウッドを出発(写真上)し、日和山経由で11年春にクロマツを植栽した所(写真中)を観察、木の階段を下りて下浜方面から防火帯2号線やトリムランニングコースの雑木が繁茂している様子を観察してサン・ウッドに戻った。



午後3時から講演会「風の松原と私」(講師浅野ミヤさん)には30名参加。浅野ミヤさんのお話に熱心に聞き入り、質疑等もあり盛会であった。



午後5時からプラザ都で行われた本会初めての懇親会に20名の参加があった。写真はスペースの都合で省略する。



175 「樹幹注入作業」(前号の続報)

24年3月1日(木)、23年度最後の事業である松くい虫予防剤樹幹注入作業を実施した。18名参加。

午前9:30にいこいの広場に集合。最初に薬剤の樹幹への注入についての説明があったあと、会員がドリルで幹に穴をあけ、薬剤(グリーンガード)を1本1本打ち込んでいった。薬剤の使用本数は全部で67



本。経費は192,500円。

例年3月1日には雪がほとんど消えているのだが、今年



は閉会時のあずまの屋根の雪で、豪雪年だったことが観察される。

176 平成24年度総会

総会は4月20日(金)13:30~15:00まで能代市中央公民館で行われた。安井会長あいさつの後、栗林晃米代西部森林管理署長さんと船山富雄能代市林業木材振興課長さんからあいさつをいただいた。議長選出では柴田郁さんを選出、議事は滞りなく行われた。

事業は、昨年同様の林床改良作業、ニセアカシア萌芽除去作業、松くい虫予防剤樹幹注入作業に加え、今年度は、秋に松原クリーンアップを実施し、終了後に懇親会を行う案も会員から提起された。



177 風の松原を守る市民ボランティア大会

この大会は昨年から4月に実施されるようになり、今年4月22日(日)に行われ、市民ら約700人が松の枯れ枝などを拾い集めた。本会では第1回から個人参加としているため人数を集約していないが、今回は作業リーダーとして4名が参加している。



178 今年度最初の「林床改良作業」

5月10日(木)

9:30~11:30まで、今年度第1回の「県保安林の林床改良作業」が行われた。この



日の作業では健全な松林に育つというキノコの種類・松露も見付き、良好な生育環境を取り戻しつつある現状に、参加者からは喜びの声も聞かれた(この写真2枚は北羽新報社提供)。第1回目の参加者は25名。



6月28日(金)には第2回目の林床改良作業が行われ、15名が参加。7月10日(火)には同じく3回目の林床改良作業が行われて15名が参加した。今後の作業は11月6日に行われる予定である。

179 第1回「ニセアカシア除去作業」

5月22日(火)9:30~11:30には、今年度第1回の「ニセアカシア除去作業」が行われた。当日は市営陸上競技場脇に集合、日和山方面に向かうウッドチップ歩道脇や、日和山のあづまや近くの歩道脇で、ニセアカシアの萌芽が成長



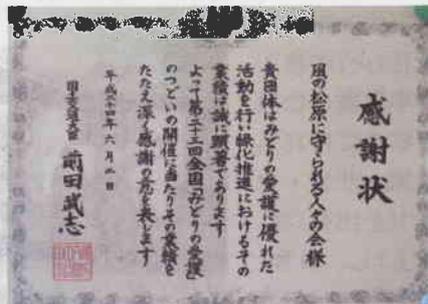
し、散策者の歩行を妨げるのを除去することを目的として行われた。参加者は10名。

6月12日(火)には第2回目のニセアカシア除去作業が行われて10名が参加。今後は、9月25日に第3回目が行われる予定である。

180 「みどりの愛護」のつどい

本会が国土交通大臣から感謝状受賞

6月2日(土)秋田県立中央公園あきたスカイドームで、皇太子殿下が参列して、第23回全国「みどりの愛護」のつどいが開催された。本会から安井会長以下4名が出席した。この式典で本会が前田武志国土交通大臣から感謝状を贈られた。



181 「秋田の森林づくり」誌に本会の活動が紹介される

秋田県森と水の協会が編集・発行している月刊誌「秋田の森林づくり」6月号に本会の活動内容が掲載されている。本会事務局員の小林勝平氏が「初期の活動」「私が入会した頃」「現在の活動」「今後の希望」といった内容を執筆している。



182 「風の松原 一守られて300年 この緑を未来へ」発行

本会が今年度の「秋田県水と緑の森づくり税」活用事業として計画し、準備を進めてきたパンフレット「風の松原一守られて300年 この緑を未来へ」が遂に完成し、9月1日に発行される。

このパンフレット作成の目的は、広く市民に風の松原の現状と課題を明らかにし、未来に引き継ぐ活動の一助とするもので、能代市民や公共機関、観光案内所等に配布し、松原の歴史や現状、本会の活動などを紹介するために300部作成した。会員には本会の費用で増刷したものを配布する予定である。

